



西東京市立保谷中学校
学校便り 1号
令和6年4月12日(金)

保谷中学校の教育「5つの柱」

校長 三沢 英俊

うらかな春の日差しの中、令和6年度における保谷中学校の教育活動が始まりました。今年度も引き続き「あたたかな環境と信頼関係にもとづき、生徒一人ひとりが多様な可能性やよさを発揮し、将来の自主自立につながる学校」、「一人一人の個性を尊重し相互に高め合える学校」、「みんなで持続可能な社会に向けて課題解決を図る学校」の実現をめざします。

生徒が大人になったとき、社会で自らのよさ・強みを発揮し、堂々と生きていけるように「自主自立」の育成をコンセプトに「5つの教育の柱」を設定し、教職員が一丸となり取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

1の柱 「探究力・学びを生かす力」の育成

【実社会に生きて働く学力】

- (1) 生徒一人一人の「問い」や「疑問」から「自ら学ぶ力」を引き出し、「深い理解」を伴う「基礎基本」の「確実な習得」を促す。更に、自ら「課題」を設定し「解決」に向かう「探究する力」や「自ら学習を組み立てていく力」を培う。
- (2) 目標・課題の提示と終末の振り返りを行い、生徒が自らの学びを把握する「メタ認知力」を培う。また生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現する。
- (3) タブレット等の効果的な活用を図り、個別最適な学びと協働的な学びの相乗効果を図る。

2の柱 「豊かな感性・実践力」の育成

- (1) 生徒とのふれあいを大切にしながら生徒の内面に迫り、生徒一人一人の深い生徒理解をもとに、自他を尊重し多様性を認め合う豊かな人権感覚や感性・実践力を培う。
- (2) 自他の多様な可能性やよさを認め合い、相互に高め合える共生社会の市民性を培い、またいじめや偏見・差別を許さない姿勢を育む。
- (3) 道徳を全教員が担当し、各々の専門性を生かし、道徳的な諸価値を通じて生徒自身のよりよい生き方への考えを深め、実践を促す。

あたたかな環境と信頼関係のもと、生徒が自らの可能性やよさを見出し相互に高め合い、持続可能な社会に向けて一人ひとりが自己を生かし「自主自立」を培う学校の実現
令和6年度 「重点目標」

< 5つの柱 >

- 1 「探究する力・学びを生かす力」
- 2 「豊かな感性・実践力」
- 3 「キャリア形成・自己実現」
- 4 「やり抜く力・たくましい心と体」
- 5 「規範意識の醸成、及び持続可能な社会の形成を図る力」

3の柱 「キャリア形成・夢の実現」の支援

- (1) 生徒が将来の夢を抱き、夢の実現に向けて自己のキャリア形成を図れるように、全教育活動を通して生徒一人一人が自分のよさを発揮し実感できるよう指導の工夫を行う。
- (2) 授業を通して各教科の学びのよさや魅力を生徒に伝え、学級活動や行事を充実させ、生徒が学校の学びに価値を見出し自己のキャリア形成に位置づけ夢の実現に生かせるようにする。
- (3) 小中連携教育の充実、及びキャリア・パスポートの効果的な活用により生徒の自己理解の深化と自覚的・意図的なキャリア形成を支援する。

*R3年度 西東京市キャリア教育研究奨励校

*R6,7年度 西東京市小中一貫教育研究指定校

5の柱 「規範意識の醸成、及び持続可能な社会の形成を図る力」の育成

- (1) 学級や委員会等のよりよい集団活動を目指し互いの意見や主張を調整し合い、ルール等をつくり合う経験から、規範意識の醸成を図る。
- (2) 「西東京ふるさと探究学習」をはじめ職業学習や挨拶運動・ボランティア活動等の体験を通し、社会に貢献する意欲・意識を培う。
- (3) 「持続可能な開発目標」(SDGs)に取り組む。17の目標のうち、特に「13.気候変動に具体的な対策を」に重点的に取り組む。

4の柱 「やり抜く力・たくましい心と体」の育成

- (1) 生徒が自ら創り上げる行事を成功させ、達成感や自己肯定感を育み、やり抜く力を培う。
 - (2) 毎年、生徒自らが考え創り上げる準備運動「保中ステップ」を保健体育で実施し「生徒主体」のやり抜く力や基礎体力の向上を図る。
- *R3年度 東京都教育委員会 体力向上推進優秀校
- (3) 各学期での「生活習慣の振り返り調査」を基とした、個に応じた指導助言による健康教育を推進する。

生徒が大人になったとき、自らのよさ・強み【資質・能力】を発揮し、自らを生かし堂々と生きていけるよう、未来社会の創り手となるその素地を、引き出し、培えるようにしていきたいと思ひます。